

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	フローレンス ジョジョ (児童発達支援)
公表日	令和 7年 3月 5日

利用児童数 3名 回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2			1		
適切な支援の提供	8 児童発達支援計画には、児童発達支援カイロインツの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1				
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			2		
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 父母の余の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			1		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					

非常時の対応	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2		1		
	22	個人情報等の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	23	事業所では、事故防止やマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1		2		
満足度	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	2				
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				いつも、ありがとうございます

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	フローレンス ジョジョ (児童発達支援)	公表日	令和 7年 3月 5日
------	----------------------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・1人当たりのスペースを確保するために、人数や予定を調節し、十分な広さを確保しています	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・法令で必要とされている人数のスタッフを確保しています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・部屋は明るく、季節にあった表飾をしています ・駐車場から玄関はつながるスロープや車椅子対応のトイレを備えています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・ごまめに掃除を行っています ・利用者様に応じて、ベッドやマットを用意しています	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・個室は3部屋あり、必要時に使用しています	
	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		・日々、職員間で情報共有を行っています ・事業所の運営についても職員間で意見を募り、業務改善につなげています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・事業所の評価をうけて、業務改善につなげています ・いつも貴重な意見をありがとうございます	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・事業所の運営についても職員間で意見を募り、業務改善につなげています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	・第三者評価は行っていないが、医師や相談員さん等よりジョジョは利用希望者が多いや丁寧なケアをしていると言われています ・毎月、研修を行っており、外部講師を招くこともあります ・大学での医療ケア児の研修にも参加しています	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・現在、公表に向けて、支援プログラムを作成しています	
業務改善	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		10		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・日々のかわわりのなかで、得られた情報をアセスメントし、計画を作成しています	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・児童発達支援管理者を中心にして、全スタッフと支援会議を行っています	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・計画に沿った支援を行っています	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・アセスメントシートを用いて行っています	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・計画にはガイドラインに則って、支援内容を作成しています ・「地域支援・地域連携」は重症心身障がい児のため難しいところがあります	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・サービズ開始前に打ち合わせを行っています ・ご家庭からの情報も大事にし、子どもが安心して過ごせるように情報共有を行っています	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・サービズ終了時には気づいたこと等話し合い、情報共有している	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・サービズ提供記録には計画とリンクした内容となるように、記載している	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・モニタリングにて、計画の見直しと修正を行っています	
24	障害児相談支援事業所のサービズ担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・対面や書面により情報交換を行っています	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・最もインクルーシブで、インクルーシブと言われています	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学園)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・今までは、対象児がいませんでした	・今後、必要時は行うべく予定です
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		・書面にて情報交換を行い、連携を図っています	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		10	・重症心身障がい児を対象としているため難しいところがあります ・保育所勤務の看護婦が研修の希望あり受け入れています	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・保護者とのやり取りは密に行っています ・送迎時や面談時にこどもについて、気になること等を確認して、情報共有しています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		・オムツ・ボジヨニング等の研修会がある際に案内しています	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・契約時に書面を用いて行っています ・変更等があった際にも、書面等を用いて速やかに保護者の方に説明を行っています	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・送迎時や面談時に保護者の思いや意向を確認しています	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		・初回は対面にて説明を行っています ・個別支援計画の評価・修正の際には、保護者への説明を行い、同意を得ています	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・行っています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	・希望があれば行いますが、現在のところ希望が無いため、行っていません	希望があれば対応しますが、ご家族からのご希望が現在の所ありません
非常時等の対応	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	・できる範囲で対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	・LINEで行っています ・保護者の方へ説明すべきことが発生した際には速やかに保護者の方に直接連絡を取っています ・個人情報の取り扱いには十分に注意しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	・お子様とは異掛けを窓に行ったり、おうちや等を使って、コミュニケーションを図っています ・研修の案内を出し、研修に参加してもらっています ・勉強会に近隣住民を招待したことがあります	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	・防犯マニュアル以外のマニュアルは策定し、適宜見直しと訓練を行っています	・防犯マニュアルの作成を検討します
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	・業務継続計画を策定し、定期的に見直しと訓練を行っています	
	47	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	・保護者と気になること等を確認して観察やサービスを提供しています ・てんかんについては記録し、保護者と情報共有しています ・保護者からの情報を基に対応しています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	・安全計画を作成し、定期定期的に訓練を行っています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	・速やかに対応できるように対策は立案されています ・ひやりやはつとじた際には、ヒヤリハット報告書を作成しています ・ヒヤリハットの対策を立て、スタッフ間にて情報共有を行っています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	・虐待防止委員会を4回/年実施しています ・スタッフはチェックリストにて自身の行動を振り返り、虐待防止につなげています ・身体拘束の対象者はいません ・定期的に虐待・身体拘束委員会を行っています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フローレンス ジョジョ (児童発達支援)				
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～		令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名	
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～		令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 5日				

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・看護師が多いため、重症心身障がい児で医療依存度が高くても、入浴ができる	・スツップのほとんどが看護師である。 ・呼吸器の使用や気管切開していても、安全に入浴できる。	
2	・赤ちゃんから高齢者まで対応できる。	・幅広い利用者さんが利用されている。	
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・受け入れ人数に制限があり、利用されたい方すべてを受け入れることができない。	・人員不足。	・法律や制度の人数配置の緩和がされると良い。
2			
3			